

## 平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	千葉剛成
	全体計画			経費区分	-	内線	3622
事務事業名	4314 文化財調査研究事業						
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課						
施 策	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費					
	事業	010000 文化財調査研究事業					
事業目的				事業概要・効果			
文化財の保護事業を展開し、よりよい保護、活用施策を講じるために、調査及び研究を行う。				埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴う埋蔵文化財の調査確認等を実施して記録保存を行う。また、文化財審議委員会を開催し、新たな市指定文化財の指定等により文化財の保護を行う。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施した。また、文化財審議委員会を開催し、新たな市指定文化財の指定について答申を行った。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進める。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進める。

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		47,140	73,798
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	21,068	44,268
	地方債	0	0
	その他	111	112
一般財源		25,961	29,418
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	2.3	2.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,371.6	1,371.6
	嘱託職員	6,267.5	6,267.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,639.1	7,639.1
市民一人当たりの経費		1.0	1.6
総額		54,779.1	81,437.1

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	25	調査指導等謝礼
11節 需用費	3,008	埋蔵文化財等消耗品、埋蔵文化財整理室光熱水費
13節 委託費	15,942	発掘調査に係るシルバー委託費、遺構測量、保存処理。文化財説明看板設置。
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	8	文化財各種協会等負担金
その他	28,157	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	200	調査指導等謝礼
11節 需用費	6,051	埋蔵文化財等消耗品、埋蔵文化財整理室光熱水費
13節 委託費	27,787	発掘調査に係るシルバー委託費、遺構測量、保存処理。文化財説明看板設置。
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	8	文化財各種協会等負担金
その他	39,752	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	文化財保護法に基づく文化財の保護	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	開発事業者や文化財所有者と調整を図りながら、文化財の適切な保護ができた	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	県からの委託事業については、調査費用を委託金によりまかなった	

振り返り（決算年度の取組み課題）

埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施し、必要な保護を図れた。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めることができた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
文化財保護法に基づく埋蔵文化財の発掘調査や記録保存及び市指定文化財の指定を進め、継続して貴重な文化財の保存活用を図る必要がある。		出土品の整理・研究が遅れている。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	